

標題 神在ねぎ栽培講習会を開催

(ダイジェスト)

9月24日、JAしまね出雲神在ねぎ部会の栽培講習会・情報交換会が開催されました。
これからの栽培管理のポイントを確認するとともに、その後の情報交換会では参加者全員で
昨年より早い12月出荷に向けて意欲を高める場となりました。

JAしまね出雲神在ねぎ部会は、全農オリジナル品種の「あじぱわー」を栽培し、「神在ねぎ^{かみあり}」として販売しています。

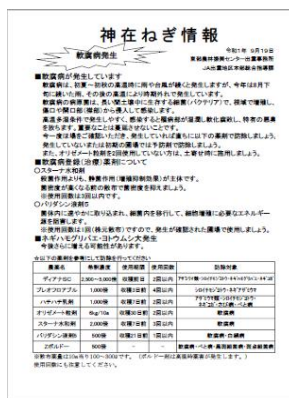
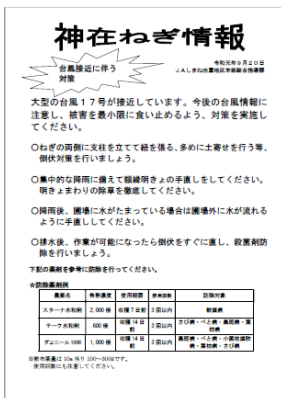
神在ねぎの名前の由来は、最初の栽培を神西という地区で行ったこと、出荷時期が旧暦の
神在月頃から始まる事によります。太くて甘みが強く、葉の部分まで軟らかく食べられるこ
とが特徴で、現在では関西を中心に冬期限定のブランド商品になっています。

また昨年に部会全員で美味しまね認証を取得し、農産物の安全・安心に対する消費者のニ
ーズにも対応しているのも販路拡大を後押ししています。

反面、軟らかいという特性上、病気や害虫の被害を受けやすく、加えて葉も食用として多
く残すことから栽培管理や収穫、調整に多くの労を要するため巡回指導や、多発している病害
虫情報を提供するとともに（「神在ねぎ情報」下写真）、栽培講習会を開催し、土寄せ、追
肥のタイミングなど適切な管理を呼びかけています。

講習会では普及部から今後の栽培管理について注意点を説明し、販売面では、昨年豊作で
あったにも関わらず暖冬の影響で消費が落ち込むなど苦戦した年であったため、講習会後
の情報交換会では生産者やJA職員が生育情報を共有し合い、昨年より早い12月出荷に向
けて意欲を高めました。

当農業普及部としても、適期作業の励行をはじめ、新品種の導入やGAPの管理など関係機
関と連携し安定生産、品質向上に取り組んでいきます。



「神在ねぎ情報」
左 台風対策について
右 軟腐病に対する注意喚起